

令和 6 年度 第 2 回 蕨市総合教育会議

令和 7 年度 教育事業の概要(案)



令和 7 年 2 月 4 日
蕨市教育委員会

○蕨市教育大綱(案) (抜粋)

Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

基本理念

**生きる力を育み ともに学び
未来を拓く蕨の教育**

基本方針

- Ⅰ 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成**
- Ⅱ 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援**

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実**
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実**
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実**

共通の視点

次の 2 点を計画全体に共通する視点として各施策に反映します

- ①持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた教育の推進**
- ②教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進**



学びあい高めあう学校教育の充実

1 教育センターの効果的な運用

- ・ 予 算 額 : 5,727万7,000円 (ICT支援員分を除く)
- ・ 事業概要 :

これまでの教育相談、環境改善のための支援、日々草学級・日本語特別支援教室での支援、教職員研修・学校コーディネート事業のほか、GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用するための教職員研修について一層の充実を図っていく。

ICT支援員を引き続き配置し、教職員のICT活用指導力を向上させ、児童・生徒の情報活用能力を育成するための研修をさらに充実させていくほか、優れた教育実践に係る資料等をクラウド上に集約し、教職員が必要なときに共有し、個別に研修できる環境の充実を図っていく。

(担当＝学校教育課)



▲ICTを効果的に活用するための教職員研修

2 学校における ICT の効果的な活用 (ICT 支援員の増員)

- ・ 予 算 額 : 1,716万円
- ・ 事業概要 :

令和2年の12月末日に、全児童・生徒への1人1台のPC端末等の整備を完了し、4年が経過した。教職員が授業等においてICTを効果的に活用できるよう、ICT支援員等による、専門的な研修を実施しているほか、蕨市の教職員ポータルサイト上で、マニュアルや研修動画、ICTの効果的な活用事例等を共有し、教職員がいつでも自分のペースで研修を進められる体制を整えることで、研修の充実を図っている。

令和7年度は1名ICT支援員を増員し、授業や校務、教職員研修等、学校における教職員のICTの活用支援をととして、全ての学習の基盤となる資質・能力である児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図っていく。

(担当＝学校教育課)



▲ICT支援員による教職員研修の案内

3 ALT や英語 4 技能テストを活用した外国語教育

・ 予 算 額：5,015万7,000円

・ 事業概要：

小学校における外国語及び外国語活動の授業や、中学校における外国語の授業のより一層の充実を図るため、全小・中学校へのALT 1名の配置を継続する。また、中学校2年生及び3年生には、引き続き英語4技能テストを実施し、教職員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習を組み合わせた生徒の外国語活用能力の一層の向上を図っていく。

(担当＝学校教育課)



▲英語4技能テストを活用した外国語活用能力の向上

4 塚越地区日本語特別支援教室の整備

・ 予 算 額：535万8,000円

・ 事業概要：

日本語を母語としない児童生徒を対象にした日本語指導のより一層の充実を図るために、蕨市教育センターの他に塚越地区に日本語特別支援教室を整備するとともに、日本語特別支援教育支援員を1名増員し、蕨市の子供たちが安心して学校生活を送り、学び、成長するよう、支援の充実を図っていく。

(担当＝学校教育課)



▲教育センターでの日本語指導

5 スクールカウンセラーの増員

・ 予 算 額：490万8,000円

・ 事業概要：

小学生の不登校児童数が増加傾向にあることから、蕨市スクールカウンセラーを雇用し、主に小学校へ巡回し、埼玉県スクールカウンセラーとも連携することで、相談体制の充実を図っていく。

(担当＝学校教育課)

6 校内教育支援センターの整備

- ・ 予 算 額：2,376万4,000円
- ・ 事業概要：

学びの保障と居場所づくりを目的に、各中学校に校内教育支援センター（e-station）を設置するとともに、市費採用の臨時教員とサポートスタッフを雇用し、生徒に対して積極的に関わり、不登校対策の充実を図っていく。

（担当＝学校教育課）

7 デジタル教材整備・活用事業

- ・ 予 算 額：866万3,000円
- ・ 事業概要：

児童生徒一人一人に応じた学びを提供するため、小・中学校において、I C Tを活用したデジタル教材を整備する。これにより、児童生徒一人一人の学習状況や学習進度に合った出題による知識・技能の効果的習得・定着を図るとともに、児童生徒の習熟の度合いを含めた学習状況の把握による指導の個別最適化を図る。

また、不登校児童生徒への学びの保障や、プリントの作成・配布・回収・採点等に係る教職員の業務の軽減等、学校におけるデジタル教材の効果的な活用を促進する。

（担当＝学校教育課）

8 水泳指導民間委託

- ・ 予 算 額：1,995万円
- ・ 事業概要：

小・中学校の水泳授業では天候の影響を受け、計画どおりに実施できないことや、近年の猛暑に対する安全確保が課題となっている。また、プール施設の老朽化も進んでいるため、児童生徒の安全を確保し、年間を通して計画的に授業実施ができる、民間施設を活用した民間委託方式での水泳授業を小学校4校に拡充して検証実施する。この結果を踏まえ、今後の水泳指導の方針について検討していく。

（担当＝学校教育課）

9 部活動の地域展開

・予算額：896万7,000円

・事業概要：

令和5年度より国の事業である「運動部活動の地域移行に向けた実証事業」を陸上・剣道・柔道について実施し、成果と課題を検証している。令和6年度からは、活動回数を40回と倍増し、全校からの参加に拡充した。令和7年度も実証事業を継続するとともに、水泳を拡充し、関係団体等と連携を図りながら、蕨市にとってよりよい地域展開・地域連携について検討していく。

(担当＝学校教育課)



▲地域クラブ活動の様子(剣道)

10 学校 ICT 環境の整備

・予算額：3億6,414万9,000円

・事業概要：

学校における児童・生徒や教職員のICT環境を整備し、教育DXを推進する。

令和7年度は、国のGIGAスクール構想に基づく1人1台端末の更新(第2期)を行い、ICTを活用した教育の更なる推進を図る。

また、東中学校内に、STEAM教育やアクティブ・ラーニングなど、ICTを活用しながら、協働的な学びを創出し、子供たちの創造性を伸ばす拠点となる場所として、DXルームを整備する。

(担当＝教育総務課・学校教育課)

※STEAM教育＝各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育を指すもので、下記5つの領域の学問の頭文字を取った造語です。

科学(Science) 技術(Technology) 工学(Engineering) 芸術(Arts) 数学(Mathematics)

1 1 学校トイレの改修

- ・ 予 算 額：4億5,305万4,000円
- ・ 事業概要：

小・中学校の教育環境の改善を目的に、校舎のトイレ改修を計画的に進める。

令和7年度は、東小学校、南小学校、中央小学校において、校舎内トイレの洋式化を含めた全面改修を実施するとともに、次年度の改修工事に向け、残る小学校4校の設計委託を行う。

(担当＝教育総務課)

1 2 コミュニティ・スクール事業の推進

- ・ 予 算 額：35万円
- ・ 事業概要：

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、令和元年度より東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたコミュニティ・スクールを、また令和5年度より第二中学校、西小学校、北小学校を1地区としたコミュニティ・スクールを設置している。令和6年度は、第一中学校区の南小学校、第一中学校の2校を1地区として、中央小学校、中央東小学校をそれぞれ1地区として設置する。これにより、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが設置され、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

(担当＝学校教育課)



▲学校運営協議会の様子

1 3 奨学金貸与事業の充実

- ・ 予 算 額： 205 万 2,000 円

- ・ 事業概要：

意欲ある若者の進学の後押しとなるよう、奨学金の月額貸与額を引き上げるとともに、貸与基準としている市県民税課税標準額の上限額についても引き上げを行い、制度の充実に努める。

(担当＝教育総務課)

1 4 学校給食費の負担軽減

- ・ 予 算 額： 7,589 万 4,000 円

- ・ 事業概要：

食材費高騰が続くなかでも、学校給食費の値上げを行うことなく食材費高騰分を市が補助し、質と量を確保した学校給食を児童・生徒に提供。あわせて、第2子以降の学校給食費を全額補助し、実質無償化にすることで、経済的負担の軽減を図る。

(担当＝学校給食センター)



生涯学習を支える社会教育の充実

1 西公民館等複合施設整備事業

- ・ 予 算 額 : 4,136万円
- ・ 事業概要 :

市立病院の建て替えに伴い西公民館は、老人福祉センター松原会館との複合施設として、市へ寄付していただいた錦町5丁目の土地へ移転整備を進めている。その複合施設建設工事に係る設計を令和6年度から7年度の継続事業として行っており、令和6年度に基本設計を終え、令和7年度は実施設計を行う予定。

現在の機能を引き継ぐばかりでなく、広く地域の皆様のニーズに応えられるよう、より使い易く、快適で、充実した機能を有する施設として、地域の皆様にこれまで以上に愛される施設の建設を目指す。

(担当＝西公民館)

2 セカンドブック事業

- ・ 予 算 額 : 110万円
- ・ 事業概要 :

市では現在、読み聞かせを通じて子どもたちの健やかな成長を促し、また、親子の触れ合いを深めてもらうことを目的に、4か月児健診の際に、絵本のプレゼントと読み聞かせ体験をセットにした「ブックスタート事業」を行っている。

このブックスタートのフォローアップとして、読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付けるため、令和7年度から新たに、3歳6か月児健診の際に、子どもの成長に応じた絵本を1冊プレゼントする「セカンドブック事業」を開始する（1冊2,000円×550冊）。

(担当＝図書館)

3 蕨市自然体験活動事業

- ・ 予 算 額：190万5,000円
- ・ 事業概要：

群馬県片品村での「森林環境教育」や栃木県大田原市での「農家宿泊体験」等を通じ、自然と触れ合う事で、持続可能な社会の実現を考えるきっかけとし、生きる力や自然を大切にする心を育むとともに、集団生活による異年齢間交流により生活環境の違いや考え方など相互理解しながら自主性・協調性を育むなど、青少年の健全育成に必要とされる非認知能力の向上を目指す。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲片品村での森林環境教育の様子(第1回記念)
令和6年7月26日(金)～28日(日)実施

4 音楽によるまちづくり

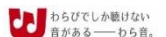
- ・ 予 算 額：405万円
- ・ 事業概要：

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。今年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲蕨市民音楽祭(令和6年9月8日開催)
第7回昭和歌謡紅白歌合戦





どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額：358万8,000円
- ・ 事業概要：
毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲ロードレース大会

2 女子サッカー応援事業

- ・ 予 算 額：177万円
- ・ 事業概要：
女子サッカー応援の一環として、令和5年に「サポータータウンに関する協定」を締結した(株)エルフェンススポーツクラブが運営する、ちふれASエルフェン埼玉との交流事業を実施するほか、女子サッカー教室を継続する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲女子サッカー教室